

化学GP道内勢1、2位

札幌の高3 中桐さん、市村さん

全国の中高生が化学の知識や実験の技術を競う「化学グランプリ2017」で、立命館慶祥高（江別市）3年の中桐悠一郎さん（17）が札幌市中央区Ⅱが1位、北

嶺高（札幌市清田区）3年の市村優弥さん（17）が同豊平区Ⅱが2位となり、上位5人の大賞に選ばれた。道内勢の1、2位独占は初めて。30日に東京都内で行われた



大賞のメダルを胸に記念撮影に臨む中桐さん（左）と市村さん

表彰式で喜びを語った。

グランプリは、世界に通用する化学者を育てようと、日本化学会などが1999年から毎年開催。今年は全国から4182人が参加。知識を問うマークシート方式の1次選考を通過した80人が、茨城県つくば市の筑波大で8月に行われた2次選考に臨み、化学実験の技術などを競った。

小学生のころから元素記号を覚えるのが好きだったという中桐さんは「さまざまなかんがえを経て新しい物質ができる瞬間が面白い。将来は脳科学を研究したい」と話し、3回目の挑戦で初めて大賞に輝いた市村さんは「最後の大会で大きな賞を取れてうれしい。将来は医者になって病気の人を助けたい」と意欲を語った。